

## 2019年4月理事会議事録

日 時：2019年4月27日（土）14：00～16：15

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・大島直行・小笠原永隆・小澤正人・  
佐古和枝・佐々木和博・佐々木憲一・杉井 健・関根達人・滝沢 誠・谷畑美帆  
・都築恵美子・萩野谷 悟・堀内秀樹・松崎元樹・宮里 修・長瀬 衛、監事：  
唐澤至朗・橋本裕行、（事務局：高麗 正・林 純子・堀田菜摘子）  
欠 席：河村好光・菊池誠一・中嶋郁夫・馬淵和雄  
進 行：小澤正人  
議 長：谷川章雄

小澤理事から、本日の出席者は22名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

小澤理事から、大阪府の広岡公夫会員が2018年12月24日、北海道の因幡勝雄会員が2019年1月24日、群馬県の檜崎修一郎会員が3月19日、群馬県の長井正励会員が3月24日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第524号 2019年度新入会員について

植田理事から、正会員については、資格基準該当者に対し、正会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2019年度新入正会員の入会資格審査は、申込み総数48名、うち1名が資格基準に該当せず、47名が内定者となった。また賛助会員のうち、法人会員については資格基準該当者に対し、正会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2018年度新入賛助会員の入会審査は、法人会員1団体、フレンドシップ会員5名が内定となり、5月18日の第85回総会にて承認を受けるかたちとなったことが説明され、承認した。

### 議案第525号 2018年度決算について

萩野谷理事から、2018年度決算は、収入においては当該年度の未収会費324万円が含まれていること、支出においては印刷製本費や雑費、当初の予算項目にはなかった退職金で予算を上回る支出となったため予備費で調整したことが説明された。また、特別会計の平成28年熊本地震募金の収支決算書が提示された。

続けて唐澤監事から、4月26日（金）に監査を実施し、2018年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告があった。講評として、各委員会報告の提出締切厳守、国庫補助を受けている事業の計画的な執行、会費未納会員の会費の取扱い、委員会活動の見直し・整備についての指摘があり、改善が求められた。

審議の結果、監事からの指摘事項については検討していくこととし、当該年度未収会費については、引き続き会員に一層の前納制の協力を求めていくことで、2018年度決算及び

監査報告については原案通り承認した。

なお、各事業報告より、陵墓担当の杉井理事から、陵墓関係行事が近畿地方で開催されることが多いものの、現在は近畿及び近隣に担当理事が不在であるとの課題が提示され、今後の検討課題することを確認した。

#### **議案第526号 2019年度予算修正について**

都築理事から、2018年度決算を受けて、会費収入を正会費収入と賛助会費収入に分けて表示することとし、また、繰越収支差額を確定額として、3月理事会議案第512号で承認された2019年度予算を修正したとの説明があり、原案通り承認した。

#### **議案第527号 退会の承認について**

佐々木和博理事から、福島県の\*会員、埼玉県の\*会員、神奈川県\*の\*会員、静岡県\*の\*会員、大阪府\*の\*会員、奈良県\*の\*会員、静岡県\*の\*会員から2018年度をもつての退会届、福島県\*の\*会員、埼玉県\*の\*会員・\*会員・\*会員、愛知県\*の\*会員からは2019年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。また、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

#### **議案第528号 平成31年度岩宿文化賞選考委員の推薦について**

矢島副会長から、群馬県みどり市から岩宿文化賞選考委員の推薦依頼がある旨の説明があり、審議の結果、神奈川県\*の\*顧問を推薦することを承認した。

#### **議案第529号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選任について**

小笠原理事から、香川県の委員について、退会により欠員となっていた1名の追加推薦があり、選考を承認した。

#### **報告第719号 第85回（2019年度）総会について**

小笠原理事から、「総会実施要項」に基づき、日程並びに理事の役割分担の確認があり、了承した。また、第85回総会における高校生ポスターセッション記念品の書籍の寄贈が、各理事に求められた。

#### **報告第720号 2018年度事業の総会口頭報告について**

小澤理事から、第85回総会における2018年度事業報告の各委員会報告説明原稿の提示があり、了承した。また、橋本監事から補足説明があり、未提出の委員会については、事前の提出が求められた。

#### **報告第721号 埋蔵文化財保護対策委員会報告**

松崎理事から、3月16日（土）に幹事会を開催し、①北九州市城野遺跡が民間開発により一部掘削されたことを受け、抗議文を送付した。②北本市デーノタメ遺跡について、報告書の作成中であることから、刊行を待って今後の対応を注視する。③港区済海寺の伊予

松山藩主久松家墓所の改葬に伴う記録調査について、3月11日（月）に埋文委として見学を行ったところ、保存処理が必要な遺物が多数出土しており、その対応が今後の課題と認識された。④鴨川市・南房総市に所在する嶺岡牧の動物被害の保存対策に関する要望書について、南房総市から2月21日付で回答があった。⑤3月27日（水）に四国連絡会で丸亀市丸亀城を訪問したことが報告され、了承した。

#### 報告第722号 広報委員会報告

小澤理事から、4月12日（金）に委員会を開催し、今年度は協会公式サイトの見直し・充実を集中的に検討していく予定であるとの説明があり、各理事に協力が求められた。

#### 報告第723号 英文機関誌編集委員会報告

佐々木憲一理事から、今年度事業として、①5月19日（日）に第85回総会でセッションを行い、発表内容を『Japanese Journal of Archaeology』に掲載する予定である。②翌日5月20日（月）に明治大学を会場にワークショップ「査読英文誌掲載を目指す論文執筆」を開催する。③国際博物館会議京都大会で編集委員が開催する国際セッションの内容を『Japanese Journal of Archaeology』に反映する予定である。④9月にスイスで開催されるヨーロッパ考古学協会に参加し広報活動に努めるとの説明があり、了承した。

#### 報告第724号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

矢島副会長から、70周年記念事業の岩宿博物館での公開講演会について、岩宿大学連続講義の第5回（最終回）として、11月に共催で行いたいとの説明があり、講演予定内容が提示され、了承した。

#### 報告第725号 著作権について

小笠原理事から、「日本考古学協会著作権規定」の運用や手続き等について、谷川会長、並びに規定作成に関わった石川前副会長とワーキンググループを開催し、検討を行った。現在は著作権規定に定めた著作権譲渡の公示期間中であるが、公示期間終了後に備えて、様々な場合における取扱いについて、マニュアル作成を含めて課題を整理する必要があることを確認したとの報告があった。また、杉井理事から、考古学界全体で方向性を考える必要性から他学会との情報交換の提案があり、了承した。

#### 報告第726号 奈良大学図書館との協会図書に関わる協議報告

谷川会長から、4月12日（金）に、近藤副会長・長瀬常務理事・高麗事務局長と、協会図書の受け入れ状況について現状確認及び利用状況について協議するために奈良大学を訪問したとの報告があった。奈良大学図書館は一般も利用できることから、利用方法等について会員への周知を協会ホームページ等で行う予定で進めているとの説明があり、了承した。

#### 報告第727号 臨時事務職員の雇用について

高麗事務局長から、臨時事務職員1名を総会終了後の6月から採用する予定であるとの

報告があり、了承した。

#### **報告第728号 会員資格の喪失について**

都築理事から、2016年度～2018年度会費30,000円の滞納により下記の6名が会員資格を喪失したとの報告があり、了承した。なお、滞納会費の督促については継続する。

\* (山形県)、\* (福島県)、\* (千葉県)、\* (東京都)、\* (東京都)、\* (大阪府)

#### **報告第729号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告**

佐々木和博理事から、4月13日(土)に委員会を開催し、①委員会の目標を再確認し、今年度の事業計画を協議した。②第85回総会におけるポスターセッション内容を検討した。③協会ホームページの「考古学と教育」ページの充実に向けて、教材として利用できる内容を掲載している博物館や埋蔵文化財センターのホームページへリンクすることを検討し、情報収集に努める。④小学校教科書採択に関わる展示会を各委員が最寄りの会場で閲覧し、今後の検討課題とするとの報告があり、了承した。

#### **報告第730号 研究環境検討委員会報告**

堀内理事から、3月16日(土)に委員会を開催し、第85回総会ポスターセッションの内容について検討を行ったとの報告があり、了承した。

以 上